

令和7年度 中信地区中学校体育大会 軟式野球の部

1. 期日

令和7年6月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)

※予備日 6月16日(月)、17日(火)、23日(月)、24日(火)

4日間開催

2. 会場

14日(土) セキスイハイム松本スタジアム、信州グリーンローズスタジアム四賀

15日(日) セキスイハイム松本スタジアム、信州グリーンローズスタジアム四賀

21日(土) 塩尻市営球場、(本城球場)

22日(日) 塩尻市営球場、(堀金総合グラウンド)

予備日 16日(月) 会場： 信州グリーンローズスタジアム四賀、セキスイハイム松本スタジアム

17日(火) 会場： 信州グリーンローズスタジアム四賀、セキスイハイム松本スタジアム

23日(月) 会場： 信州グリーンローズスタジアム四賀、セキスイハイム松本スタジアム

24日(火) 会場： 信州グリーンローズスタジアム四賀、セキスイハイム松本スタジアム

※順延後の会場については、専門委員会で協議の上、決定し、各校へ連絡する。

3. 監督会議

・令和7年5月19日(月) 14:00～ 筑摩野中学校会議室

・5月13日(火) までに、右の「令和7年度 中信地区中学校体育大会 参加チーム調査」より、参加の有無を送信すること。

・監督会議の場で、組み合わせ抽選を行うため、各チーム1名が必ず出席すること。

参加申込書、**外部指導者届**、**審判登録用紙**を持参すること

なお組み合わせ抽選は、上記「令和7年度 中信地区中学校体育大会 参加チーム調査」の申し込み順で予備抽選を行い、その後、本抽選を行う。

・参加申込書に変更があった場合は、中信地区委員長(朝日奈)に連絡した後、大会1日目に各会場の専門委員に提出する。



4. 競技方法

(1) 全試合トーナメント方式とし、各試合は7イニングとする。

(2) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差以上の場合に適用する。決勝戦も同様とする。

(3) 7回終了時点で勝敗が決しないときは、即タイブレーク方式を適用する。

※継続打順で前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者はその前の打者とする。

すなわち、無死1・2塁の状態にして一イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。

勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。

(4) 降雨などにより試合が続行不可能となった場合、5回終了時以降であってもサスペンデッドゲーム(一時停止試合)とし、試合は後日再開(継続試合)される。

5. 競技規則

(1) 2025年公認野球規則及び長野県中体連特別規定(R7年度版)による。記載のない事項は、(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携による。

(2) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認M号球(ナイガイ)とする。

(3) その他の使用器具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものとし、長野県中体連専門部の中体連特別規定

(R7年度版)に従う。

(4) 各チームで使用する用具は以下の点に留意する。

① バット

- ・金属バット及び複合バットにはJ.S.B.B マークがあるものを使用すること
- ・フレアグリップは完全被覆されたものを使用すること。

② ヘルメット (打者用ヘルメット、捕手用ヘルメット、捕手用マスク)

- ・頭部を守るものには全て  マークがあるものを使用すること。

③ 捕手用防具

- ・ヘルメット、マスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを装着しないと、競技場内では座って投球を受けることはできない。

※準備投球を野手が受ける場合は、捕手用防具をつけなくてもよいが必ず立ったまま行う。

④ グラブ

- ・タッグプレイの際、走者の目に紐が当たる危険性があるため、紐は親指の長さより短いものを使用すること。

(5) **投手による投球制限を設ける。** 1日の投球数を100球までとし、100球に達した時点で対峙している打者の打撃完了まで投球できる。球数については本部席で記録を行う。ボークや12秒及び20秒ルールが適用され、投球した場合も1球としてカウントする。

(6) **投手の12秒及び20秒ルールをすべての試合で適応する。**

6. 参加規程 ※「令和7年度 中信地区中学校体育大会 参加チーム調査」の回答後、確定する。

・大北(1チーム) ・塩尻(2チーム) ・松本(3チーム) ・クラブ(7チーム) 計13チーム(予定)

(1) 1チームの編成は、監督(引率責任者=教員・部活動指導員・校長が引率者として承認した外部指導者・クラブ責任者)1名、選手9名以上25名以内、スコアラー2名以内(生徒 **※中信大会は大人も認める**)とする。この他にコーチを2名追加することができる。但し、コーチが外部指導者の場合(教員以外)の場合は学校長が認めたものに限り1名とし、申込時に指導者承認書を届け出ること。監督は背番号「30」、コーチは背番号「29」または「28」をつける。**(※クラブチームは参加申込書に記載のある者)**

※外部指導者が引率責任者・監督者となる場合、大会引率者・監督者報告書(様式D)を参加申込書と一緒に提出する。

(2) 複数の学校でのチーム(以下、合同チーム)編成を認める。但し、参加の条件は「長野県中学校総合体育大会合同チーム参加規程」に準ずる。複数校合同チームのユニフォームは、それぞれの学校の物を使用することを認めるが、背番号の重複は認めない。

(3) 大会参加費およびプログラム代(登録選手1人500円)は、事前に学校を通して中信中体連事務局に支払う。クラブチームは監督会議で専門委員長(朝日奈)に納入する。

7. 引率および監督

(1) 監督(引率責任者)は、当該校の校長・教員・部活動指導員・校長が引率者として承認した外部指導者であること。クラブチームは参加申込書に記載のある者。

(2) 大会では外部指導者(コーチ)をおくことができる。但し、外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が認めた者とし、指導者承認書を参加申込時に提出する。クラブチームは参加申込書に記載のある者。

8. 組み合わせ(別紙参照)と日程

7:00 開場・競技役員(顧問・チーム責任者)集合、会場準備

7:20 ミーティング

7:50 第1試合オーダー交換

8：00 シートロック（5分間）

8：30 第1試合開始

以降、試合終了にオーダー交換をし、シートロックを行う。

すべての試合終了後、ミーティングを行う。

すべてが終了した会場から解散となります。各会場責任者は試合結果を朝日奈に連絡してください。

【試合開始時刻目安】 ①8：30 ②10：30 ③12：30 ※詳細は組み合わせ表参照

9. 長野県中体連特別規定の変更点 ※4月に県中体連からの連絡事項より抜粋。全文については必ず各自確認しておくこと

(1) 競技を行うにあたって

- ・得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差以上の場合に適用する。決勝戦も同様とする。また、降雨などによる試合が続行不可能となった場合、5回終了時以降であってもサスペンデッドゲーム（一時停止試合）とし、試合は後日再開（継続試合）される。
- ・選手及び監督コーチのサングラスを許可する。ただし、投手はミラーレンズサングラスの使用はできない。また、野手がサングラスを帽子の庇の上に乗せることは認める。
- ・バッティンググローブの色については指定しない。リストガード（リストサポーター）については、使用を認める。

(2) 試合開始前

- ・ダートサークルに出入りする選手及びノッカーにボールを渡す選手は、ヘルメットの着用を義務付ける。

(3) 試合中

- ・4回終了時に給水タイムとグラウンド整備（3分程度）を行う。
※熱中症予防のため、3回と5回終了時に3分間の給水タイムを設ける場合がある。また、5回終了時及び延長戦開始前にグラウンド整備を行う。なお、暑さ指数(WBGT)が31℃に達すると予想される場合には、2回、4回、6回裏終了時に給水タイム(3分程度)を設ける。
※熱中症予防のため、守備時間が長引いた場合、インニングの途中でであっても給水タイムを設ける。(20分を目安として本部で判断し、打者のプレイ完了後給水タイムを設ける。)
- ・DH 制は適用しない（全中に合わせるため変更があった場合連絡する）。

(4) その他

- ・主将マークについては撤廃する。なお、主将の背番号は何番でもよい（参加申込書に○印）。
- ・合同チームのユニフォームは、同一のものに揃えなくてもよい。ただし、背番号は通し番号になるようにすること。
※令和8年度夏季大会までは、地域移行の過渡期であるため、クラブチームにおいても、合同チームのようにユニフォームが混在していてもよい。また、逆に合同チームではあるが、地域移行を見据えてユニフォームを統一してつくった場合、そのユニフォームで出場しても構わない。

(5) 試合の心得

- ・捕手のかけ声は初回と最終回はベース前（フェア地域）でもよく、それ以外はキャッチャーボックスで行う。控え選手はベンチ前で声を出したり、守備練習を見守ったりしてよい。アップのランニングも可。
- ・審判のジャッジや選手等すべてに対するヤジ等は慎むこと。野球（スポーツ）にヤジは必要ありません。

10. その他

- ・参加申込書、指導者承認書、審判員登録用紙を監督会議で朝日奈まで提出すること。
- ・天候判断は当日の6：00に行う。原則として前日判断は行わない。状況によっては大会役員が集合してから判断を行う場合もあり得る。ただし、予備日を含めて大会実施が難しいと専門委員会で判断した場合、大

会日程を前倒しして試合を行うこともある。この際、当該チームの了承を得る。

- ・各チーム最低 1 名以上の審判員の登録を行い、大会運営を行う。審判員登録用紙も参加申込書と一緒に提出する。クラブチームの監督やコーチも運営に積極的に参加すること。運営に協力できないチームや大会役員にも関わらず無断欠席をしたチーム、虚偽の申請や報告などにより、大会運営に支障をきたしたチームについては、令和 7 年度中信地区中学校新人体育大会への出場を認めることはできない。
- ・生徒補助員をおかないため、試合を行っているチーム同士でファウルボールへの対応を行う。**ボールボーイについては試合を行っているチームから 2 名ずつ事前に選出し、審判へのボール渡しなどを行う。**ボールボーイを務める者はオーダー交換後に本部で打ち合わせを行う。（保護者でも構わないが、途中での交代は避ける。）シートノック終了後のグラウンド整備は試合を行うチームの選手が中心となって行う。
- ・試合開始時刻等の変更がある場合は事前に該当校へ連絡をする。（試合開始時刻やシートノックについて等。）
- ・大会 1 日目、2 日目に試合のないチーム関係者は大会役員として運営に携わる。**※球数の確認などのため（場所や時間は専門委員が連絡をする。）**
- ・夏季大会の優勝校には優勝旗、準優勝校には準優勝杯を授与し、上位 4 校には賞状を授与する。3 位決定戦終了後、ベンチ前に整列ののち、表彰を行う。決勝戦後はマウンドの両側に整列し、表彰を行う。
- ・県大会の出場が決まったチーム（上位 4 校）は県大会申込関係書類一式をそろえ、準決勝時に持参し、中信専門委員長（朝日奈）に提出すること。
- ・令和 6 年度中信地区中学校新人体育大会の上位 2 校を、今年度の夏季大会のシード校とする。
ただし、合同チームが上位 2 校に残った場合、夏季大会において、合同チームが解消される時には、シード権は適用しない。なお、人数の少ない学校が単独で出場できる学校と合同チームの時にシード権を獲得した際は、合同チームが解消された場合も単独で出場できる学校にシード権が残ることとする。
- ・アップ会場は設けない。試合前にアップ時間を設ける。（前の試合終了 20 分後にオーダー交換を行う前提で準備を進めること。）先発予定投手の投球練習は通常通り 4 回終了後から行っても構わない。該当校の許可を得てから行なう。ただし、試合中であるため試合状況をふまえたうえで許可を得ること。（サインを出しているときや指示を出しているときなどは避ける。）
- ・試合で使用するロジンは、本部で用意をする（1 試合につき 1 個）。
- ・中体連の大会は学校教育活動の一環であることから、日常の学校生活に合わせて持ち物などに配慮するものとし、指導者は参加生徒にこの旨を徹底させることとする（スマホ、ガム・お菓子、その他不要物の持ち込み禁止や、自動販売機で飲み物の購入をしないなど）。
- ・試合中の写真撮影や動画撮影はバックネット裏では行わない。また、SNS 等インターネット上にのせることをしない。これらは各チームの責任者の指導の下、徹底すること。守れない場合は出場を取り消す場合がある。また、大会後に SNS 等インターネット上にのせることがわかった場合は、令和 7 年度中体連新人大会への出場を認めることはできない。

【当日の服装・持ち物など】

- ・審判を行う方は、上は中体連（軟式野球）ポロシャツ（ネイビー）もしくは JSBB シャツ、水色系のワイシャツ、下はチャコールもしくは、紺、黒系のスラックスを着用のこと。
- ・旅費について、生徒を引率する先生方は、所属の学校へ旅費の請求をしてください。生徒を引率せず、競技役員として来ていただく方には中体連から旅費を支給しますので、印鑑をお持ちください。
- ・昼食は各自でご準備ください。

【問い合わせ】

中信地区中体連（軟式野球）専門委員長
朝日奈 佐（塩尻西部中）
0 2 6 3 - 5 4 - 2 4 8 9（学校）